

基礎級 実技試験(作業試験)問題

次の注意事項に従って、課題1及び課題2を行いなさい。

ただし、課題2はホテル等でビルクリーニング作業を行う技能実習生のみを対象とします。

1. 試験時間

課題	標準時間	打ち切り時間
1. 器具の使い方	20分	30分
2. シーツの扱い方	2分	3分

2. 注意事項

- (1)実技作業試験は、受付及びオリエンテーション（事前説明）の後に行います。受検票に記載された受付時間等を厳守して下さい。
- (2)遅刻は、公共交通機関の遅延等の理由で、受付開始30分前までに試験事務局まで連絡があった場合には、試験開始後30分までは認める場合があります（社用・自家用自動車による渋滞等は認めません）。試験開始時刻までに試験会場に現れず、かつ試験事務局に対して何ら連絡がない場合には欠席扱いとします。
- (3)設定された標準時間を超えて作業を行った場合、超過時間に応じて減点となり、打ち切り時間を超えた場合には失格となります。ただし、ガラス作業場所やトイレ作業場所が試験会場と別の場所にある場合には、各々の移動時間は標準時間から除くものとします。
- (4)ホテル等でビルクリーニング作業を行う受検者においては、ベットメイク作業の一部を課題2として追加し、課題1と課題2の各基準点及び合計点を以て、合否判定を行います。
- (5)支給された材料の品名・数量が、各課題の「支給材料」のとおりか確認して下さい。
- (6)支給された材料に異常がある場合は、試験官に申し出て下さい。
- (7)使用資機(器)材は、使用資機(器)材等一覧表で指定したもの以外は使用してはいけません。
- (8)作業試験は、試験官の「始め」の合図で開始して下さい。
- (9)受検者は、試験官の「始め」の合図で、試験官が聞き取れる大きさの声で「始めます」と作業開始を申告します。また、各作業試験の終了は、「終わりました」と試験官が聞き取れる大きさの声で作業終了を申告します。
- (10)作業試験開始後は、原則として支給材料は再支給しません。
- (11)作業衣は、作業試験に適したものとします。
- (12)資機(器)材等の貸し借りは禁止とします。
- (13)作業試験中は、他の受検者の迷惑となるため、声を出さないで下さい。
- (14)携帯電話は作業試験場への持ち込みを禁止します。
- (15)試験待機中は私語を慎み、必要以外に、受検者控え室から離席しないで下さい。

3. 失格要件

- (1) 作業試験が未終了の場合(各課題において「打ち切り時間」を超過した時点で作業試験が終了していない場合)
- (2) 作業の一部を省略するなど、作業手順を著しく誤った場合
- (3) 著しく不安全な作業をした場合
 - ① 器具やガラスを破損したとき
 - ② トイレ(大便器)に資機(器)材を流したとき
 - ③ その他上記と同程度の誤りを起こしたとき
- (4) 支給された資機(器)材以外のものを使用したとき。また、用意する資機(器)材を間違えたとき、あるいは不足していたとき

4. 課題1「器具の使い方」

次の仕様及び注意事項に従い、指定された資機(器)材を用いた基本作業を行いなさい。

(1) 使用資機(器)材

- ① 自在ぼうき
- ② 文化ちり取り
- ③ 毛かき
- ④ 乾式モップ
- ⑤ パテナ이프
- ⑥ デッキブラシ
- ⑦ フロアスクイジー
- ⑧ 汚水取り
- ⑨ モップ(ラーグ)
- ⑩ タオル
- ⑪ ウインドスクイジー
- ⑫ プランジャー(ラバーカップ)
- ⑬ アルコール消毒薬

(2) 仕様

- ① 作業試験場の床は、凹凸が無い、無地の塩化ビニル系床材等の弾性床材とする。
- ② 標準作業面積は、約 12 m²(作業面積 8 m²及び資機材置き場 3.6 m²)を最大とする。ビルクリーニング専用組み立て式幅木を使用してコート(作業面積)を確保するが、幅木がない場合には、縦 400cm×横 200cm(8 m²)の四角形を養生テープ等でコート(作業面積)を描く。また、縦 300cm×横 120cm(3.6 m²)の四角形を養生テープで描き、資機材保管庫(資機材置き場)とする。
- ③ 幅木の一边は、出入り口(約 60cm・一边 200cm 側)として想定する。
- ④ 入り口から 90cm 離れた場所に、スタートライン(50cm/赤のガムテープ)を記す。
- ⑤ 机上拭き用のテーブルを用意する。テーブルの大きさは、幅 1500~1800cm×奥行き 450~600cm×高さ 70cm 程度とする。
- ⑥ 作業試験実施に必要な窓ガラス(高さ 160cm 程度)を用意する。ガラス面の大きさは、縦 70~100cm×横 70~120cm とする。
- ⑦ 作業試験実施に必要なトイレ(洋式大便器)を用意する。ビルクリーニング専用トイレ模型がない場合には、試験場での洋式大便器を利用する。
- ⑧ アルコール消毒薬及び置き台を用意する。
- ⑨ デッキブラシ、フロアスクイジー、汚水取りについては、縦 400cm×横 200cm(8 m²)のコート全面を使わず、コート中央部に縦 100cm×横 100cm(1 m²)程度の範囲で作業を行う。

(3) 作業手順(器具の組合せ:作業グループ)

次に示す器具の組合せで作業を行う。

- ① 自在ぼうき(伸縮柄)、文化ちり取り、毛かきの使い方(除塵作業)
- ② 乾式モップ(伸縮柄)、自在ぼうき(伸縮柄)、文化ちり取りの使い方(除塵作業)
- ③ パテナ이프の使い方(汚れ取り作業)

- ④デッキブラシ（伸縮柄）、フロアスクイジー（伸縮柄）、汚水取りの使い方（汚れ取り）
- ⑤モップ（伸縮柄）の使い方（水拭き）
- ⑥タオルの使い方（机上の水拭きと乾拭き）
- ⑦ウインドスクイジーとタオルの使い方（ガラス洗浄）
- ⑧プランジャー（ラバーカップ）の使い方（トイレのつまり取り）
- ⑨アルコール消毒薬の使い方（手指消毒）

(4) 試験時の注意事項

- ①自在ほうき、乾式モップ、デッキブラシ、フロアスクイジー、モップは、アタッチメント式のものを用意する。無ければ、T字型モップ等、柄と一体型のものでも構わない（ただし、スプリングモップは除く）
- ②乾式モップの不織布（ダストクロス）は、既に取り付け済みとする。
- ③時間計測は、作業をすべて通して計測する。
- ④試験施設に用意される実物のガラスやトイレを使って検定する場合、試験会場からの移動時間は作業時間に含めない。
- ⑤使用した資機(器)材の手入れを行い、作業試験開始前の状態に戻す。
- ⑥作業試験終了後、使用した資機(器)材の片付けについては、試験官の指示に従う。

(5) 試験前の準備作業

- ①用意した資機(器)材を、資機材保管庫（資機材置き場）に置く。
- ②自在ほうきと乾式モップの汚れは、おが屑(15ml)を床面に均等にまくことで代用する。
- ③パテナイフの汚れは、ガムテープを代用し、縦5cm×横3cmの面積で、床面（入り口から1m付近）に貼り付ける。
- ④デッキブラシ、フロアスクイジー用に水バケツ(水 1L程度)を用意する。
- ⑤ウインドスクイジー用のタオルは事前に濡らしておく。

5. 課題2「シーツの扱い方」

次の仕様及び注意事項に従い、指定された資機(器)材を用いた基本作業を行いなさい。

(1) 使用資機(器)材

- ①ベッド、②マットレス、③シーツ

(2) 仕様

- ①作業試験場の床は、凹凸が無い床材（弾性床か木床、あるいは繊維系床等）とする。
- ②ベッドから約50cm以上離れて試験官が動き回れる広さがあるものとする。
- ③ベッドから90cm離れた場所に、スタートライン(50cm/赤のガムテープ)を記す。
- ④使用するシーツは折りたたまれ、マットレスの上に置かれている。

(3) 作業手順

- ①シーツの扱い方

(4) 試験時の注意事項

- ①シーツを四隅に折り込む際に、折り込んだ側面が、三角形あるいは四角形の両方のタイプを認めるものとする。

(5) 試験前の準備作業

特になし

6. 使用資機(器)材一覧

(1) 受検者が持参するもの

品名	規格等	数量	備考
作業衣(上下)		1着	
作業靴		1足	ヒールマークがつかないもの
保護手袋		1組	トイレ用(水が浸透しないもの)

(2) 試験場(資機材置場等)に用意されているもの

<課題1>

品名	規格等	数量	備考
伸縮柄	アルミ製パイプ L15~180cm	1本	伸縮式
*乾式モップヘッド	台形 63cm	1本	「FX ライトモップフォルダー」
ダストクロス	W69×L20.3cm	1枚	「再生PET ダスター」
*自在ぼうき	W45cm 毛の長さ約4.5cm	1本	
文化ちり取り	W29.5×D33.5×H69cm	1個	「エコ BM-2」
おが屑		30ml	15ml×2回(自在ぼうき、ダストクロス)
毛かき		1個	
パテナイフ		1本	
*デッキブラシ	W18cm 毛の長さ約4.5cm	1本	
*フロアスクイジー	W約46cm	1本	
汚水取り	W31×D35.5×H51cm	1本	
水用バケツ	15L	2個	水バケツ、汚水回収バケツ
収納ケース		2個	タオル、ウインドスクイジー、プランジャー、
バケツ用キャリアー		1個	
*モップラッグ(房糸)	ワンタッチラッグ替糸 D23cm、糸長21cm、重さ260g	1枚	スプリングモップは不可
タオル	無地、綿製、薄手、長さ80cm程度、(白<乾き拭き>、黄<水拭き>、青<養生用> 各1枚)	3枚	白、黄、青の3色が揃わなくともよい
机上拭き用の台	W1500~1800×D450~600×H70cm	1個	会議用テーブルあるいは机(アルコール消毒薬置き台)
ウインドスクイジー	W35cm	1本	
プランジャー		1本	洋式大便器用(ラバーカップ)
汚水飛散防止用 ビニールシート		1枚	
アルコール消毒薬		1個	
養生マット	出入り口用マット W45×L150cm または W45×L75cm	1枚	
*組み立て式幅木	W400×D400×H10cm	1組	アルミ製
*専用ガラス台模型	ガラス台 W200×D5×H160cm	1式	作業面積は、縦70~100cm×横

	板ガラス部分 W200×H100cm		70～120cm 高さ 160cm 程度
*温水洗浄便座	W48×D52.2×H17.3cm	1 式	「ウォシュレット P」
*洋式大便器	W44.5×D77.2×H87.8cm 4.8L	1 式	「ピュアレスト P」

<課題 2>

ベッド	W85～125×D185～205×H15～30cm	1 組	
マットレス	W85～125×D185～205×H15～30cm	1 本	
シーツ	W135～205×D225～285cm	1 枚	

- 注 1) 乾式モップ、自在ぼうき、デッキブラシ、フロアスクイジー、モップ（房糸）は、アタッチメント式のものがない場合には、柄と一体型のものを使用する。ただしスプリングモップは不可とする。
- 注 2) ビルクリーニング専用組み立て式幅木がない場合には、縦 400cm×横 200cm(8 m²)の四角形を養生テープ等で作業面積を描く。また、縦 300cm×横 120cm(3.6 m²)の四角形を養生テープで描き、資機材保管庫（資機材置き場）とする。
- 注 3) ビルクリーニング専用ガラス台模型がない場合は、試験会場の窓ガラス等を利用する。ガラス面の大きさは、縦 70～100cm×横 70～120cm 高さ 160cm 程度とする。
- 注 4) ビルクリーニング専用トイレ模型がない場合には、試験会場での洋式大便器を利用する。
- 注 5) ビルクリーニング専用ベッド模型一式（ベッド、マットレス、シーツ）がない場合には、試験会場のベッド、マットレス、シーツを利用する。ただし、仕様に示す大きさとする。

<課題 1 の標準配置図>

